

Nxera Pharma

第36回定時株主総会

2026年3月25日 | ネクセラファーマ株式会社(コード:4565)

免責事項

本資料は、ネクセラファーマ株式会社およびその子会社（以下、総称して「当社グループ」）に関する本資料作成時の一般的な情報を記載しています。本資料は、情報提供を目的としたものであり、有価証券の投資勧誘や投資アドバイスとして解されるべきものではありません。本資料は、受領者の具体的な投資目的、財務状況、または特定のニーズに合わせて作成されたものではありません。また、第三者による有価証券の評価またはその募集の根拠を提供することを意図しておらず、何らかの有価証券の申込または購入を推奨するための資料ではありません。

本資料の情報は、要約であり全情報ではありません。一部の情報は、公開情報源から入手されています。当社グループは、明示的あるいは黙示的に関わらず、本資料に含まれている情報の正確性、公平性、または完全性に関して一切表明または保証せず、当該情報の正確性、公平性、または完全性に頼るべきではありません。当社グループは、新しい情報および／または将来の出来事に照らし合わせて本資料を更新する責任または責務を負いません。また、当社グループは、改訂または変更を通知する義務を負うことなく、自己の裁量により本資料の内容を任意の方法で改訂、修正、または変更できます。

本資料には、1933年の米国証券法のセクション27A（改定を含む）および1934年の米国証券取引所法のセクション21E（改定を含む）で定義されている「将来予測に関する記述」が含まれています。「信じる」、「期待する」、「予測する」、「意図する」、「計画する」、「目指す」、「見積もる」、「予定である」、「可能性がある」、およびこれらと同様の表現は、将来予測に関する記述であることを示しています。本資料に含まれている過去の事実以外のすべての記述は、将来の経営に関する当社グループの財務状況、事業戦略、経営計画および目標（当社の製品に関わる開発計画および目標を含む）を含め（ただし、それだけに限定されない）、将来予測に関する記述です。当該将来予測に関する記述には、既知および未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれているため、当社グループの実際の結果、業績、または実績は、当該将来予測に関する記述に含まれたり示唆されたりしている将来の結果、業績、または実績と大きく異なる場合があります。当該将来予測に関する記述は、当社グループの現在と将来の事業戦略および将来の事業環境に関する数多くの想定に基づいています。当社グループの実際の結果、業績、または実績と将来予測に関する記述の内容とに大きな違いをもたらしうる重要な要因として、特に製品の創薬と開発に伴うリスク、臨床試験に関わる不確実性、期待よりも遅い被験者の募集、患者に対する当社グループの製品の投与に起因する予期しない安全性の課題、製品の製造に関わる不確実性、当社グループの製品の市場の受け入れ不足、成長を管理する当社グループの能力欠如、当社グループの事業分野および市場に関わる競争環境、適切な資格を有するスタッフを確保・維持する当社グループの能力欠如、当社グループの特許および所有権の法的強制力または保護の欠如、当社グループと関係会社の関係、当社グループの製品を陳腐化させうる技術の変化および発展、その他の要因が挙げられます。これら要因には、東京証券取引所および日本の金融庁へ提出された当社グループの開示済み報告書に記載された要因が含まれますが、それだけに限定されません。当社グループは、将来予測に関する記述に含まれている期待および想定は当社グループの経営陣が現在入手できる情報に適切に基づいていると考えていますが、一部の将来予測に関する記述は、結果として不正確となりうる将来の出来事に関する想定に基づいています。将来予測に関する記述は、本資料の日付の時点のものであり、当社グループは、新しい情報が将来入手できた場合でも、将来予測に関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

本資料は、何らかの有価証券の勧誘を構成するものではありません。本資料およびその内容は、いかなる契約または確約の根拠となりません。本資料の受領者は、本要約の内容を法律、税金、または投資のアドバイスと解釈してはならず、それに関しては自己のアドバイザーへ相談すべきです。

本資料およびその内容は機密情報であり、当社グループの書面による事前同意を得ることなく、全部または一部を複製、公開、その他の形で配布してはなりません。当該資料は、いずれかの司法管轄区または国の個人または組織に対して現地の法律または規制に違反して配布される、またはそれにより使用されることを意図していません。

本資料には、非GAAP財務データが含まれています。本資料に含まれている非GAAP財務データは、IFRSに従って計算された財務実績のデータではなく、IFRSに従って決定される利益または営業利益の差し替えまたは代用、業績の指標、または営業活動により生み出されるキャッシュフローの差し替えまたは代用、または流動性の基準として捉えるべきではありません。非GAAP財務データは、IFRSに従って報告された当企業の実績の分析の代用としてではなく、それに追加して扱うべきです。

「ネクセラ」および当社グループのロゴは、当社グループの商標もしくは登録商標です。

Agenda

- 01 開会宣言
- 02 議決権個数のご報告
- 03 監査委員会の監査報告
- 04 2025年12月期の連結業績・事業報告
- 05 決議事項
- 06 質疑応答
- 07 採決
- 08 閉会宣言

2

開会宣言

Opening Declaration

01

議決権個数のご報告

Report on the number of voting rights

02

監査委員会の監査報告

Audit Committee Audit Report

03

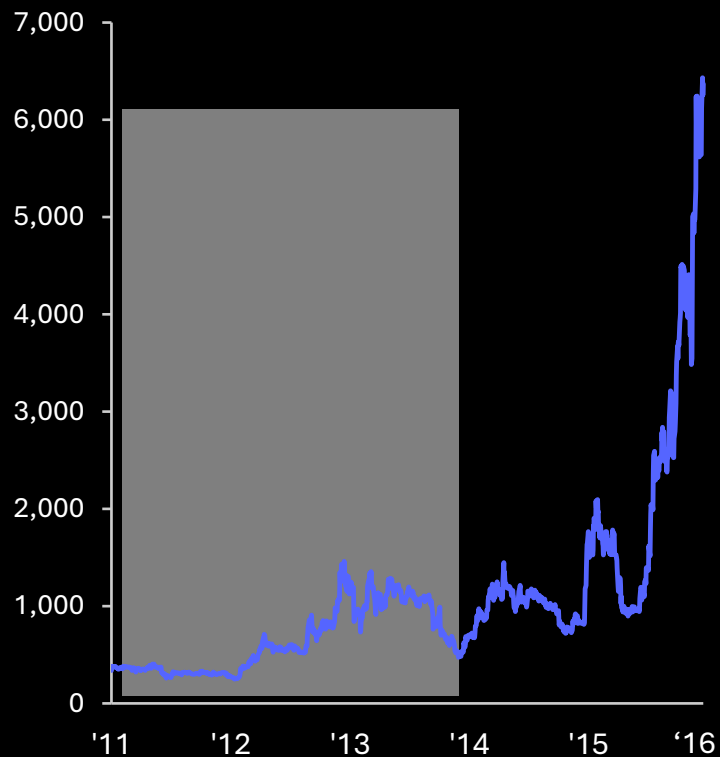
2025年12月期の連結業績・事業報告

FY2025 Consolidated Results Business Report

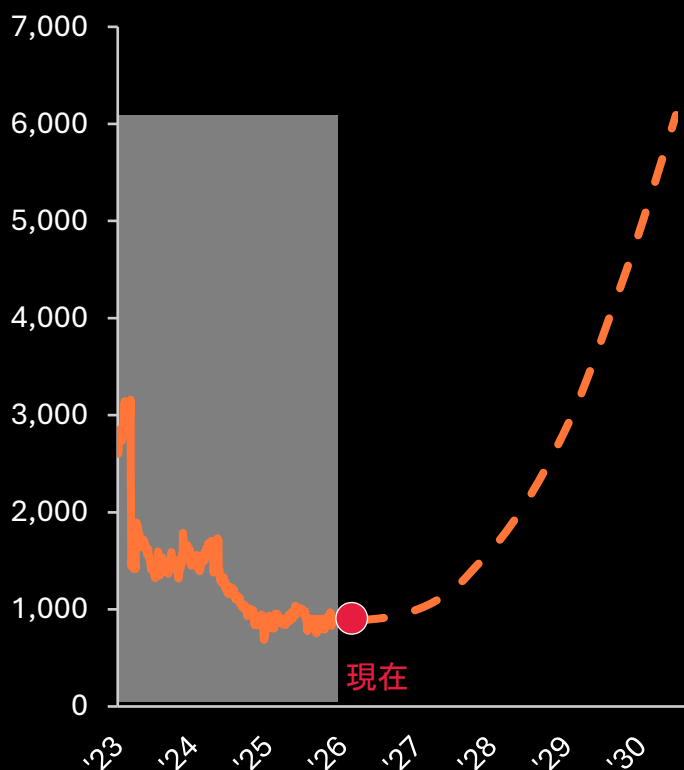
04

株価は過去と似た局面 - 2030年ビジョンの実現に向け全面的にコミット

株価：2011年～2016年



株価：2023年～2025年



500億円

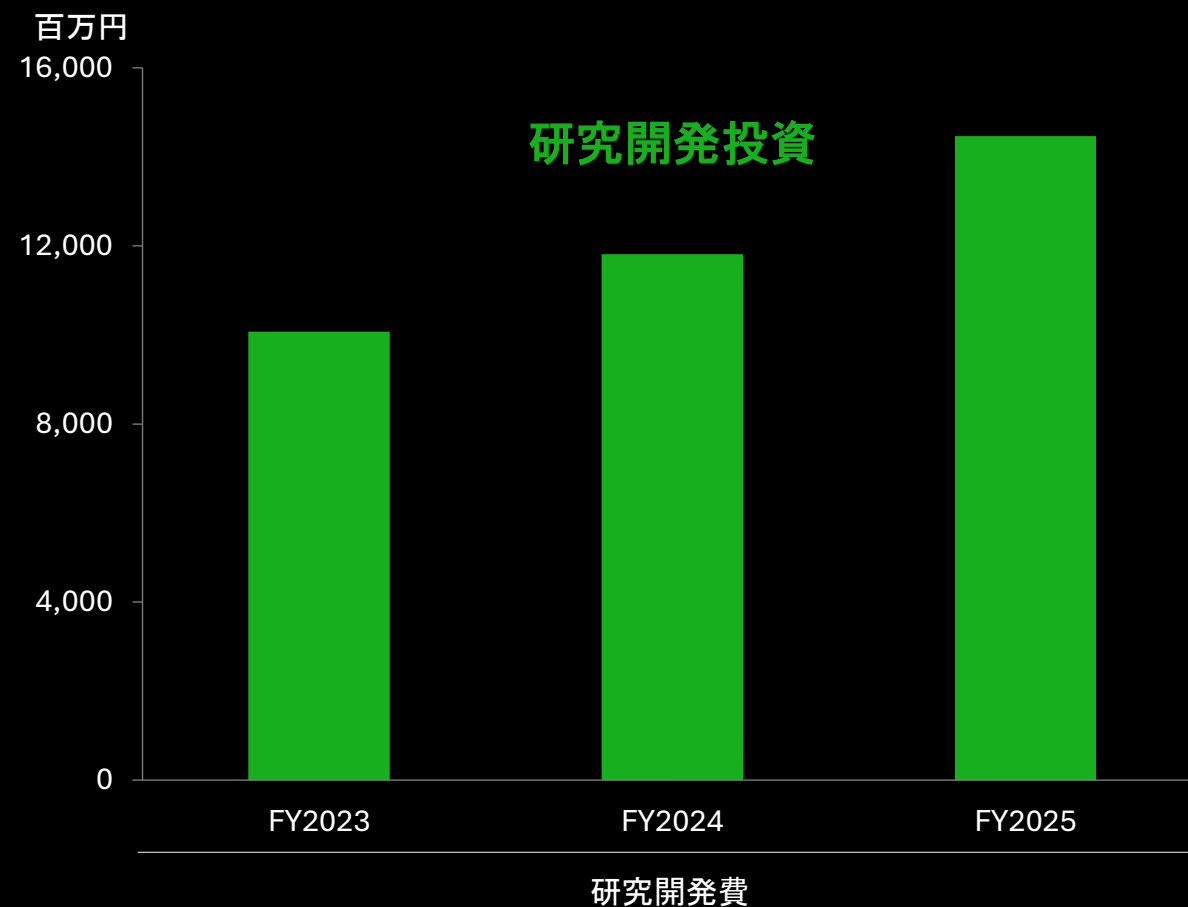
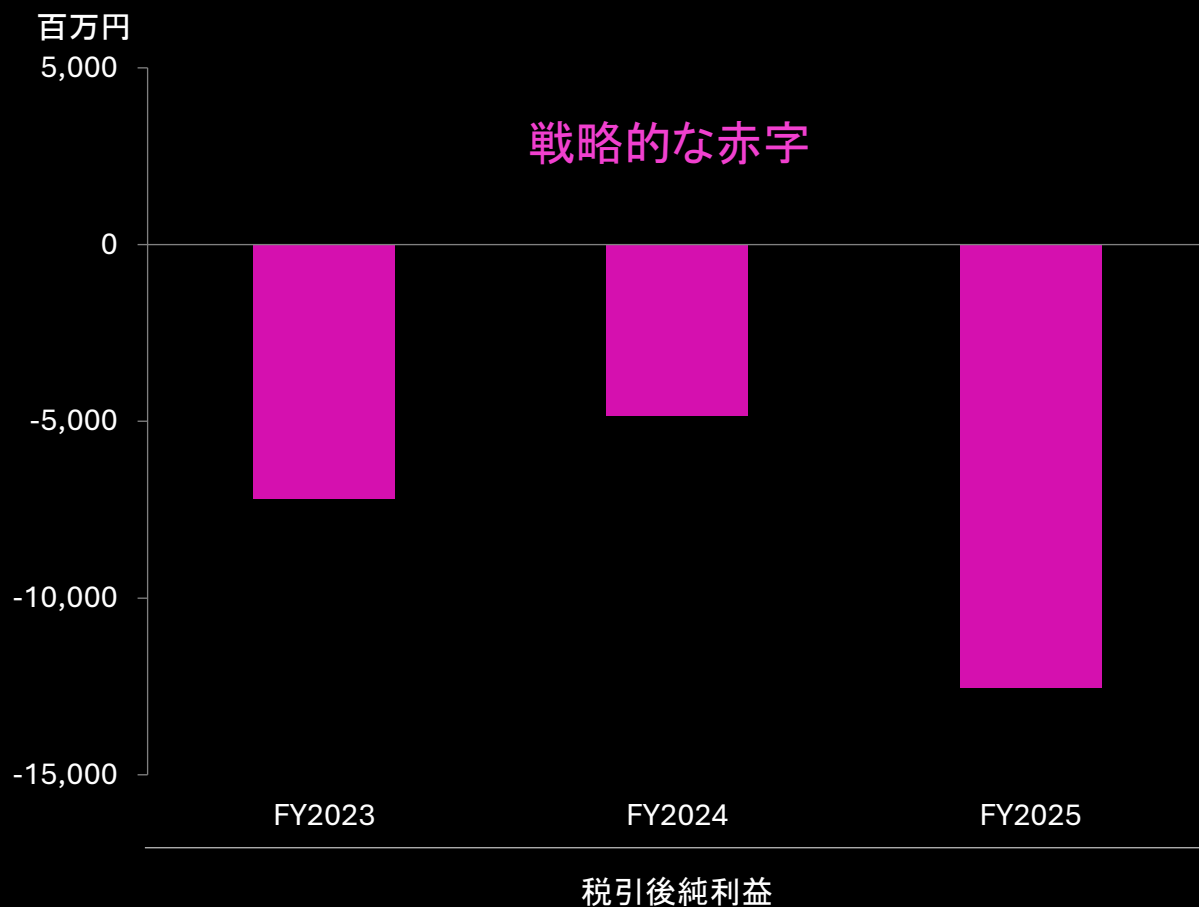
2030年
売上収益

30%+

2030年
営業利益率

投資すべき時期を見極め、長期的な価値を創出する

中長期の価値創出に向けた、過去3年の意図的な投資



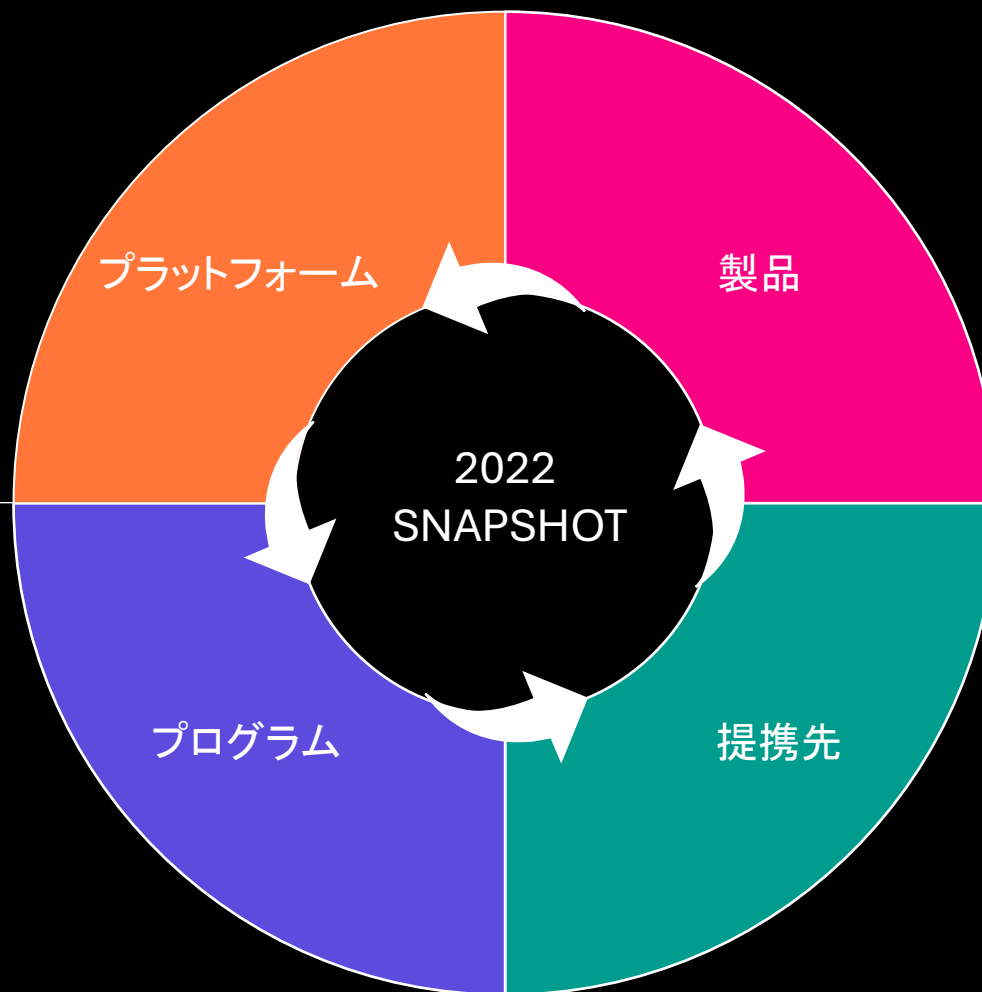
投資フェーズから、回収フェーズへの転換が始まる

ネクセラへの投資は、イノベーションの好循環への投資であり...

STAR + SBDD

オラビ

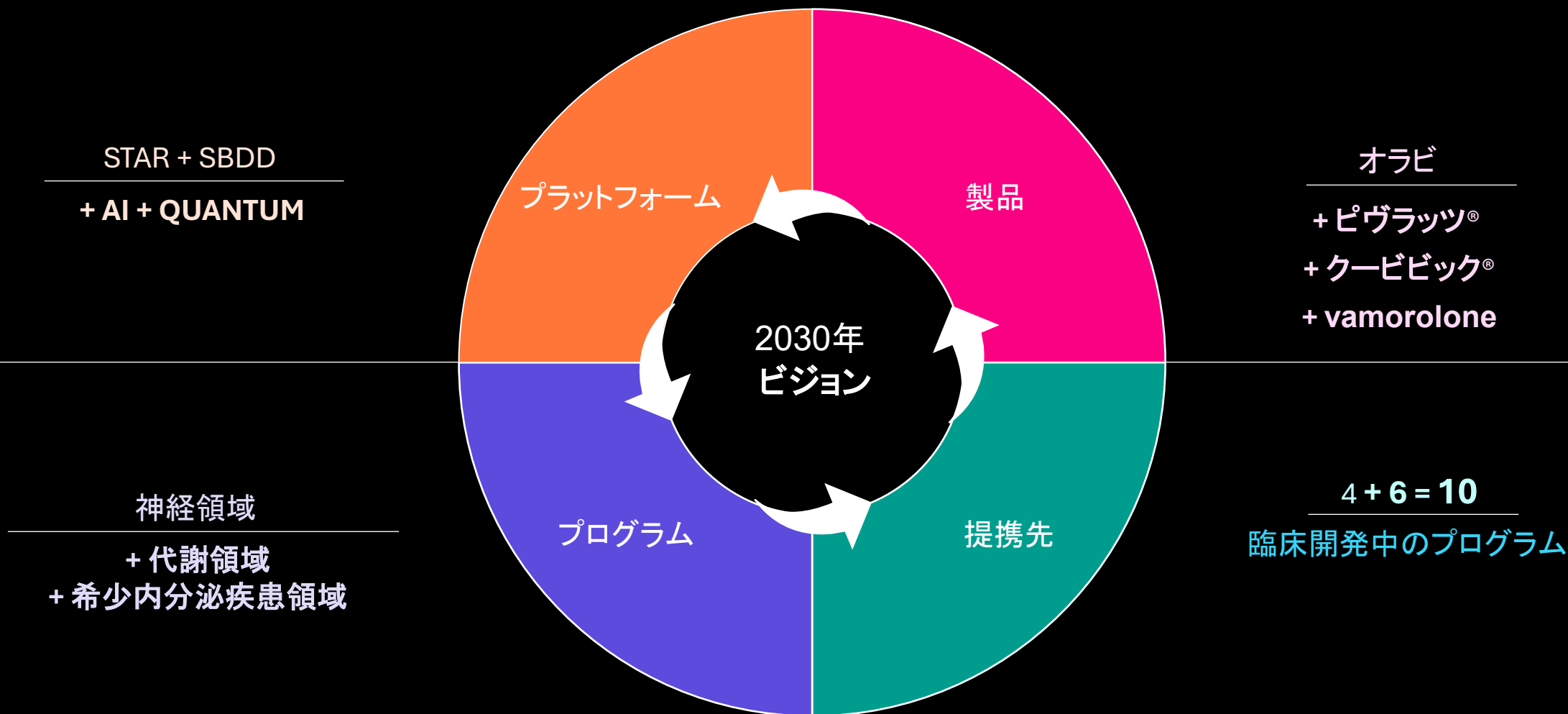
神経領域



4
臨床開発中のプログラム

それぞれの事業が資金面で支え合い、リスクを低減し、強め合う

...それが今、形になりつつある



それぞれの事業が資金面で支え合い、リスクを低減し、強め合う

過去3年間で、当社の成長を力強くけん引する日本事業を構築

エンドセリン受容体拮抗薬 【薬価基準収載】
ピヴラッツ® 点滴静注液 150mg

標準治療- 脳血管攣縮の予防
 2025年 純売上高: 135億円 (前年比 +6.8%)

市場リーダー

74%

ピヴラッツ® 市場シェア

不眠症治療薬 / オレキシン受容体拮抗薬 【薬価基準未収載】
クービビック®錠 25mg 50mg

不眠症- 2024年12月 塩野義製薬と上市
 フェーズ3試験は韓国において全評価項目を達成
 製造販売承認申請 (MAA) を提出

急成長

+224%

クービビック® 売上成長率

Vamorolone

aGamree®

デュシェンヌ型筋ジストロフィー- Santhera社より導入
 米国・EU・英国・中国で承認取得

新規追加

70%

ピヴラッツ®との売上シナジー

¥ -

2022年 日本売上高

¥178億円

2025年 売上高
 (前年比 +27.5%)

スペシャリティ領域・希少疾患・小児疾患で基盤を確立し、急速な成長を見込む

Vamoroloneで患者様を治療する、小児神経科Vasantha Gowda医師のご紹介



- エヴェリナ・ロンドン小児病院に勤務し、**神経筋疾患の専門医**で小児神経科コンサルタント
- キングス・カレッジ生命科学・医学部における名誉上級講師を兼任



Vamoroloneを日本に届け、デュシェンヌ型筋ジストロフィーの2,000人を超える患者様と、そのご家族を支援できることを誇りに思います

DMDと生きる少年たちに、子どもらしく生きる力を届ける

デュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）

- **希少かつ致死性の神経筋疾患**
- 進行性の筋機能障害により、以下を引き起こす：
 - 歩行障害
 - 呼吸不全
 - 心機能障害
 - 早期死亡

Vamorolone

- ✓ コルチコステロイドと同じ受容体に結合するが、受容体の下流シグナルを最適化



承認済み



- ✓ 従来のコルチコステロイドと**同等の長期有効性**が確認されており、最大8年間の治療成績データが存在
- ✓ 運動機能を損なうことなく**成長を維持**
- ✓ 椎体骨折リスクを**大幅に低減**（80%減）
- ✓ 良好な**長期の眼科的および代謝プロフィール**

Vamoroloneを日本に届け、デュシェンヌ型筋ジストロフィーの2,000人を超える患者様と、そのご家族を支援できることを誇りに思います

AI創薬時代において、15年にわたり蓄積した独自データが大きな優位性となる

非公開の独自データ

“

誰もが同じ情報で学習するとモデルは必然的に収束する。
だからこそAIはコモディティ化に向かっているのだ。



Larry Ellison
Oracle共同創業者

真の価値はモデルそのものではなく、
その背後にある独自データである。
独占的なデータセットで学習で
きる企業は、競合には再現でき
ない優位性を得る。

”

STAR + SBDD

493 GPCR構造

59 受容体 400+ 重複のない低分子化合物

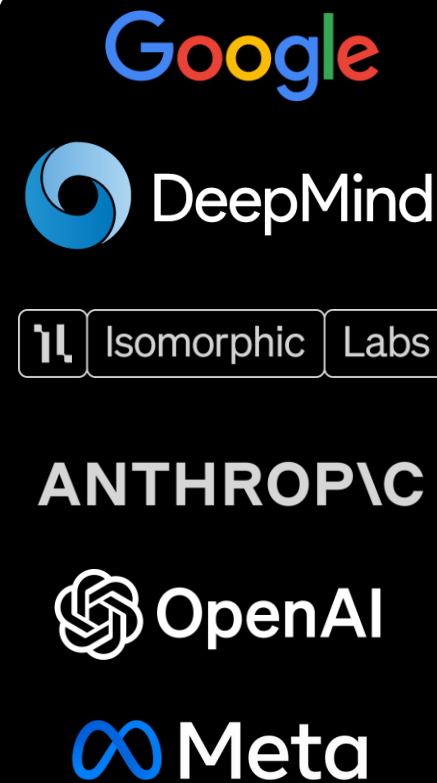
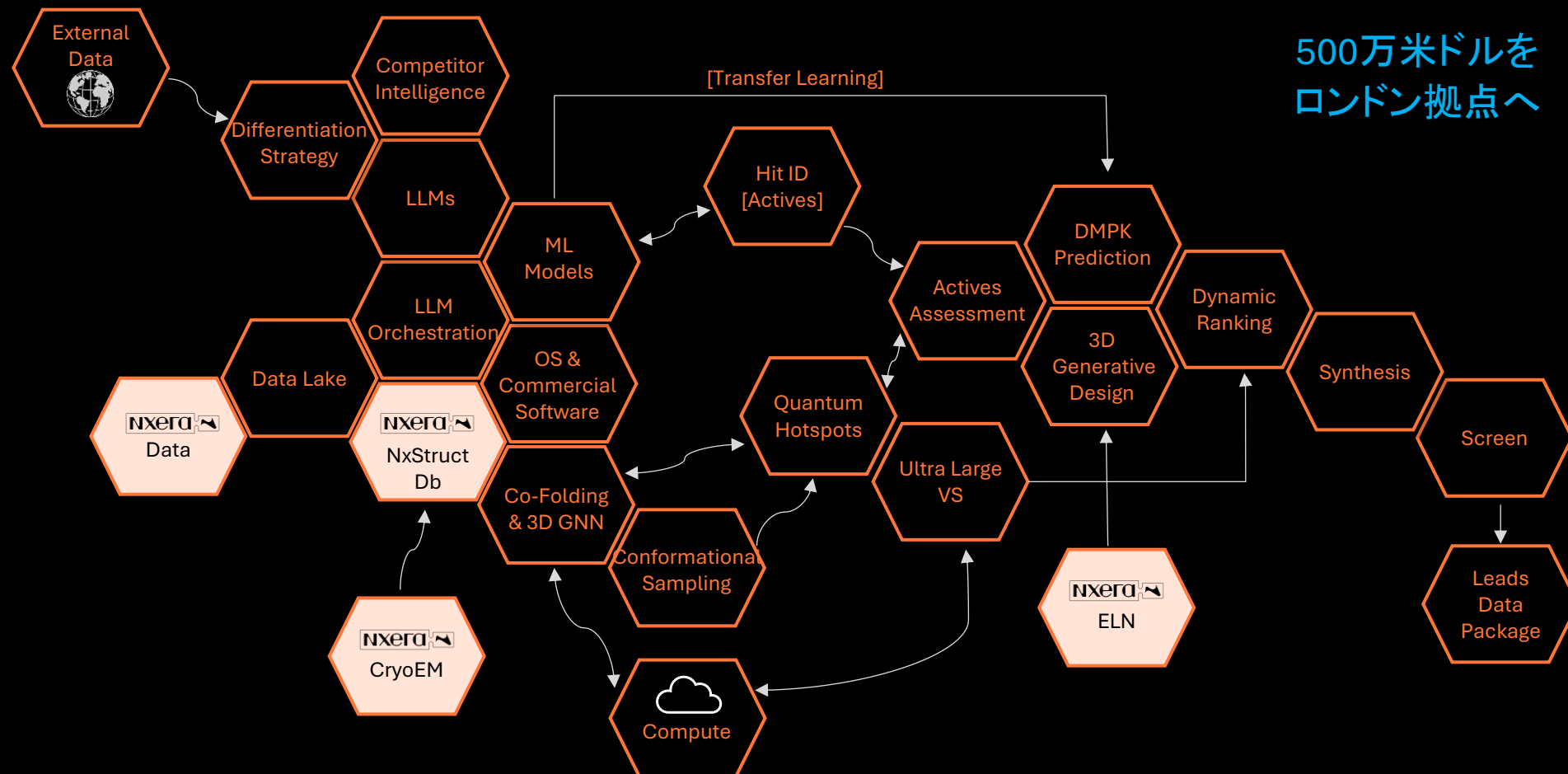
30,000 変異データポイント

100+ プロジェクト



非公開かつ独自のデータセットを、当社のOracleデータ基盤と大規模言語モデル上で統合的に管理

新薬をただ見つけるのではなく、新薬の見つけ方を再設計する

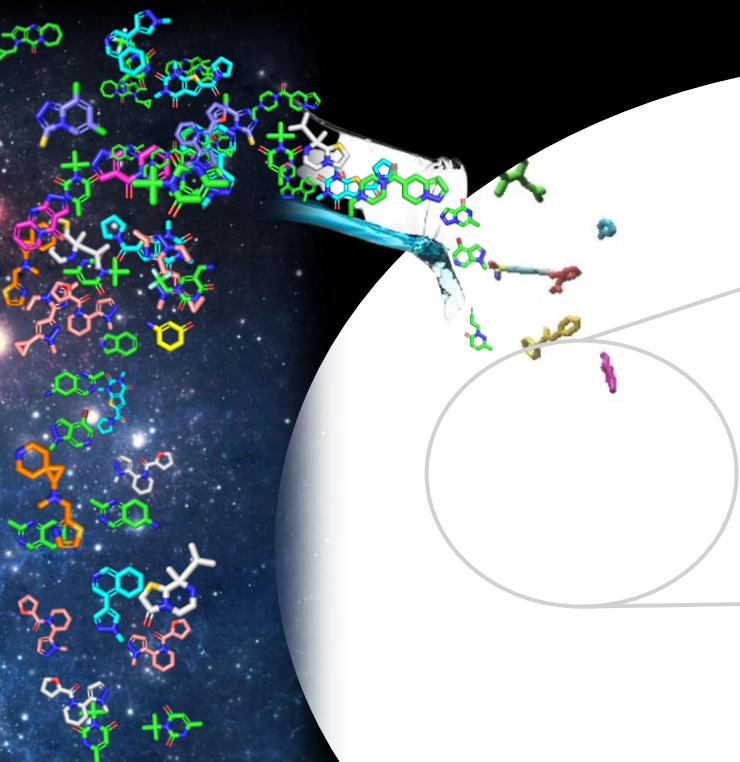


当社のAI+Qプラットフォームは、ネクセラを「製薬企業」から「テクノロジー企業」へと変革する

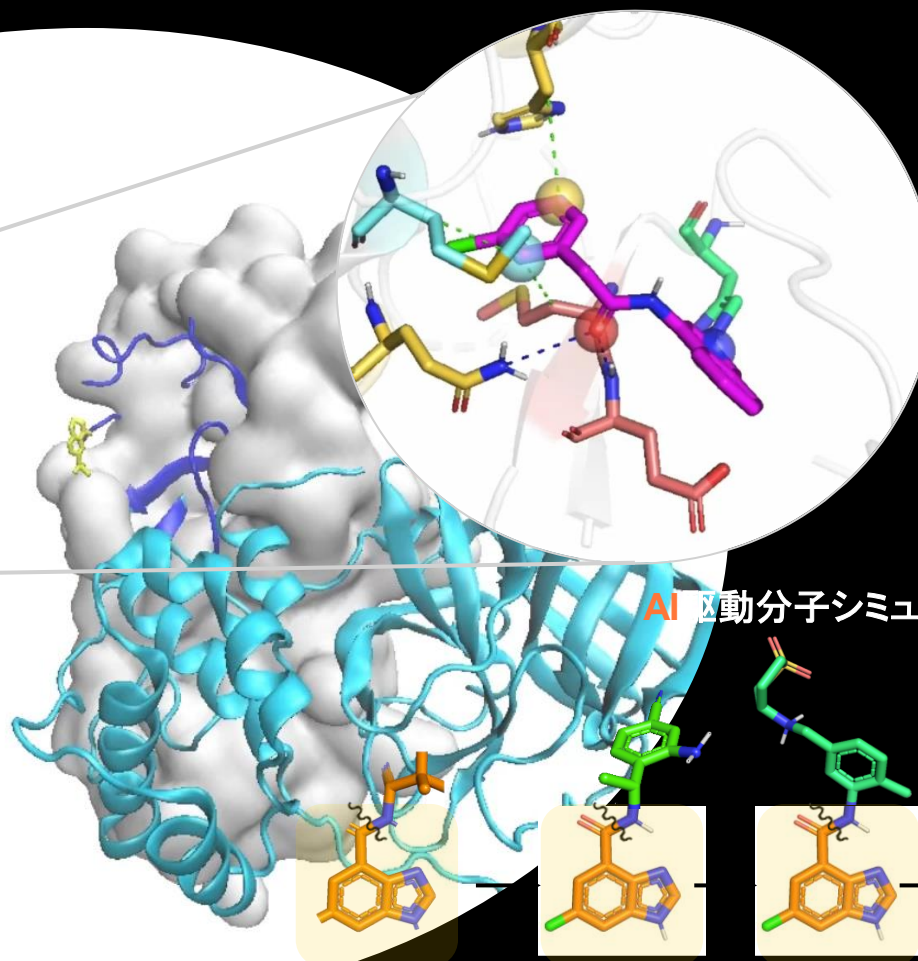
AI+Qプラットフォームのβ版を開発中、26年後半の稼働を見込む

量子レベルの精度

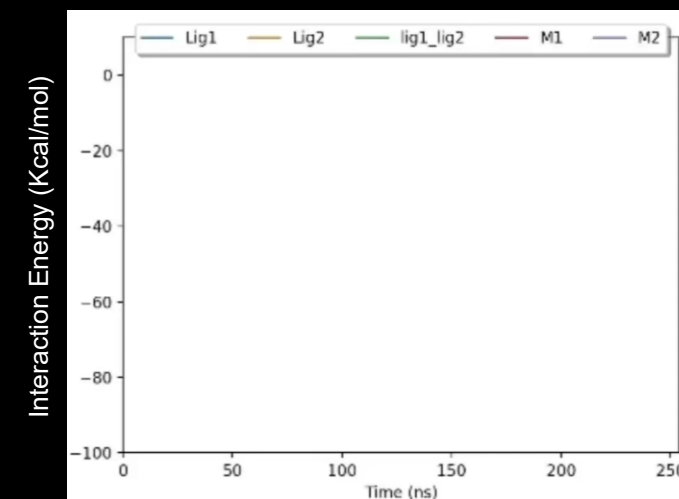
高速シミュレーション



493 GPCR構造



AI駆動分子シミュレーション



Residence Time (ns)

上市薬



概念実証

厳選したパイプライン群は、治療パラダイムを一変させる可能性を持つが...

2022年以前

神経領域で豊富な実績

M1作動薬

M4作動薬

M1/M4作動薬

OX2作動薬



2026年以降

代謝領域および希少内分泌疾患領域を構築

GLP-1作動薬

肥満の標準治療/ 長期体重管理療法

GIP作動薬

GIP拮抗薬

Amylin作動薬

GLP-1との併用療法によりプラセボ同等レベルの忍容性、筋量維持、体重減少効果の増強

TSHR NAM

甲状腺眼症

PTH作動薬

副甲状腺機能低下症

10年間で29の開発候補品を創生した実績。そして今、次の創薬候補品群が続々と登場する

...現状では、全く評価に織り込まれていない

	市場規模 ¹	世界の患者数 ²	強固な戦略的合理性
GLP-1 作動薬	21兆円	10億人	✓ 相乗効果の高い標的- 代謝領域の併用療法、希少疾患を軸に展開
GIP 作動薬	6兆円		✓ 代謝領域標的：10%以上の体重減少、プラセボ同等レベルの忍容性、筋量維持
GIP拮抗薬	1.5兆円		
Amylin 作動薬	3兆円		✓ 高額で長期投与が前提の注射製剤に代わる経口治療へのニーズ
TSHR NAM	1兆円	5,000万人	✓ バイオマーカーに基づく評価項目により、迅速かつ資本効率的にリスク低減
PTH 作動薬	0.5兆円	1.75億人	

ペプチドホルモンGPCRを標的とした、利便性の高い1日1回経口投与の差別化された低分子

1; 2030年の推定世界市場規模(単剤・併用療法を含む); 出所; Evaluate Pharma
2; 2030年の推定世界患者数; 出所; Evaluate Pharma

臨床開発段階の3プログラムと、新規パートナーへの導出計画

EP4 作動薬 炎症性腸疾患

NXE'744

フェーズ2開始準備完了

フェーズ1試験を成功裏に完了
フェーズ2試験の開始準備完了

インドメタシン負荷試験で、
早期の有効性シグナルを確認

2026年のライセンス契約に向け、潜在
パートナー6社と協議中

GPR52 作動薬 統合失調症

NXE'149

フェーズ2開始準備完了

フェーズ1試験を成功裏に完了
フェーズ2試験の開始準備完了

脳画像で、他の抗精神病薬と同様の
脳領域への作用を示唆

2026年のライセンス契約に向け、潜在
パートナー7社と協議中

EP4 拮抗薬 がん免疫療法

NXE'732

フェーズ2a

フェーズ2aデータは2026年下期に取
得見込み。ONO-4578 (EP4拮抗薬) は
フェーズ2試験で主要評価項目を達成

2例の部分奏効を含む、
早期の有効性シグナルを確認

Cancer Research UKが進行中の
フェーズ2a試験を実施管理

2026年に新たな提携契約を行う予定

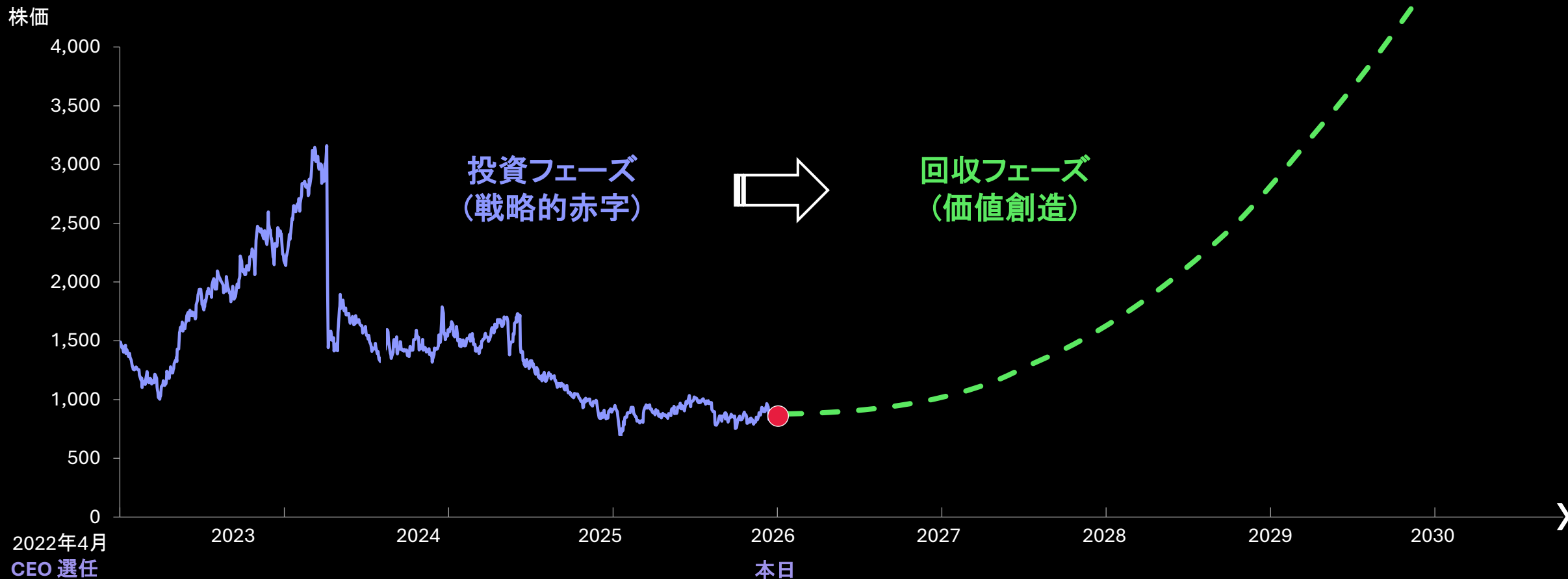
世界トップ企業が最難関GPCRプログラムのパートナーとして、Nxeraを選択

	開発段階	提携先	取引総額(最大) ¹
ムスカリン受容体作動薬 神経疾患	NBI-568 フェーズ3		4,000億円
オレキシン2作動薬 睡眠障害	ORX750 フェーズ2		マイルストーン、ロイヤリティ、 株式持分
複数ターゲット 糖尿病・代謝性疾患	基礎		1,200億円
複数ターゲット 神経疾患	基礎		1,800億円

増資に頼らない安定的な事業運営。日本を拠点とし世界に展開

¹: 本取引の締結時点で、オプション料に加え、開発・規制・商業化に係るマイルストーン支払いについて合意済みです。さらにNxeraは、本パートナーシップに基づき開発される製品の将来の純売上高に対し、1桁台後半%から10%台半ば%までの段階的ロイヤリティを受領する権利を有します。

転換点へ向けて、着実に前進



今は「Jカーブ」の底に位置。これから回収フェーズに入る

テクノロジーを活用し、より効率性を重視した経営へ

2025年実績

296億円 売上高 **204億円** キャッシュ



2026年ガイダンス→黒字化が視野に

338億円 売上高 **78億円** コア営業利益

収益創出

- 2026年 売上成長目標
(PIVLAZ: +5%, QUVIVIQ +30%)
- ニューロクライン、センテッサ、リリー、アッヴィからのマイルストーン
- GPR52 / EP4 導出

規律

- 2023年以降、グローバル人員を約30%削減(達成)
- 複数のパイプラインプログラムを中止
- 2026年に追加で約10%のコスト削減見込み

2030 ビジョン

- 高成長・高収益の日本発バイオファーマ
- 売上高目標: 500億円以上
- 営業利益率: 30%以上

規律ある資本配分と、厳格なGo/No-Go判断によるR&D投資

経営陣全員がネクセラの株主であり、株主の皆さまと目線を共有します



クリス・カーギル
CEO



野村広之進
CFO



前田敏宏
COO



パトリック・フォルシュ
CSO



キーラン・ジョンソン
CAO



キャンデル・チョン
COS



中藤万里子
CLO

グループ戦略・
業務執行

資本構成・IR及び
事業開発

ネクセラファーマ
ジャパン社長
日本・APAC
臨床開発・
コマーシャル

Nxera Pharma UK
社長
英国研究開発

トレジャリー・
財務報告

サポート機能

法務・
コンプライアンス

ネクセラを創り上げた経営陣が、ネクセラの次章を切り開きます

成果の積み重ねで信頼を築く – マイルストーンを一つずつ着実に

2026年 主なマイルストーン

2027年 主なマイルストーン

AI+Q 構造アンサンブルを活用したデザインへの応用

AI+Q コフォールディングに向けた、量子インスパイア型の等変カップリング

AI+Q AI+Qプラットフォームから初の最適化済みリードプログラムを創出

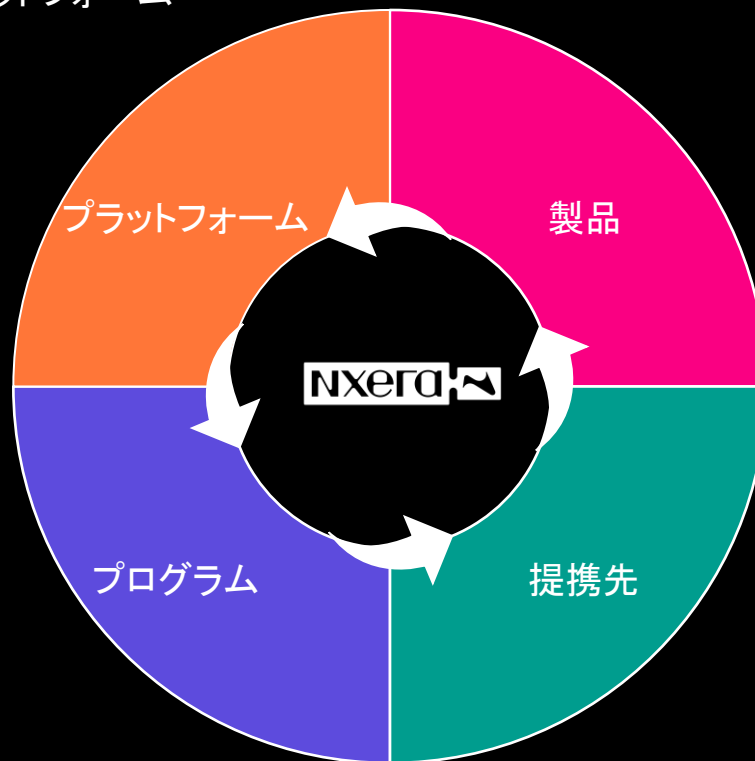
Amylin 作動薬 開発候補品

TSH NAM 開発候補品

GIP 拮抗薬
IND取得に向けた試験
代謝/内分泌
プラットフォーム発の
次世代プログラム

AI+Q

AI+Q創薬プラットフォームの立ち上げ



EP4 拮抗薬 Ph 2a 中間データ

GIP 拮抗薬 開発候補品

QUVIVIQ 韓国 MAA申請

QUVIVIQ 台湾 承認

Vamorolone 導入

NBIX M1/M4 Ph 2 開始

NBIX M1 Ph 1 データ

NBIX M1/M4 Ph 1 データ

CNTA ORX750 Ph 2a データ

CNTA ORX142 Ph 2 開始

CNTA ORX489 Ph 1 開始

PFE MC4 Ph 1 データ

EP4 作動薬 導出

GPR52 作動薬 導出

QUVIVIQ

韓国 承認/上市

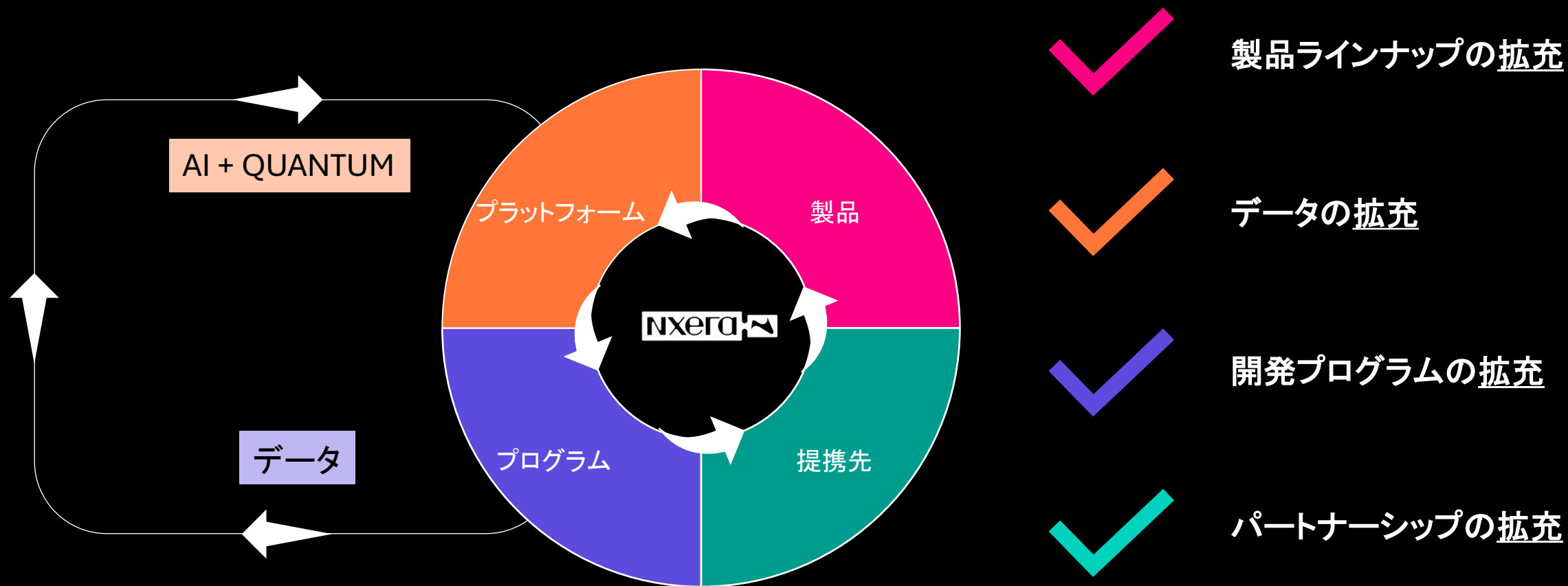
Vamorolone

JNDA 申請

NBIX M4 Ph 3 データ

NBIX M4 NDA 提出

実行力こそ、私たちのイノベーション。共に歩みましょう



確立された基盤、明確な戦略、準備万端のチーム。の次章はここから始まる

決議事項

Matters to be Resolved

05

議案

取締役7名選任の件

①	クリストファー・カーギル	取締役 代表執行役社長CEO、指名委員長、報酬委員	再任		
②	デビッド・ロブリン	社外取締役 報酬委員長、指名委員	再任	社外	独立
③	ロルフ・ソダストロム	社外取締役 監査委員長、報酬委員	再任	社外	独立
④	富田 英子	社外取締役 監査委員	再任	社外	独立
⑤	志村 直子	社外取締役 監査委員	再任	社外	
⑥	ニコラ・ラブソン	社外取締役 報酬委員	再任	社外	独立
⑦	諸岡 健雄	-	新任	社外	独立

注: 現在の当社における地位および担当を記載

質疑応答

Q&A

- 最初に出席票番号のみをおっしゃってください
- ご質問は簡潔にお願いいたします
- ご質問はお一人様1回につき2問までとさせていただきます

06



採決

Vote

07

閉会宣言

Closing Declaration

08



Locations



Midtown East,
9-7-2 Akasaka
Minato-ku
Tokyo 107-0052

Japan



F17, 410 Teheran-
Ro
GangNam-Gu
Seoul 06192

South Korea



Steinmetz Building
Granta Park,
Cambridge
CB21 6DG

United Kingdom



Spaces Grosspeter
Tower,
Grosspeteranlage
29,
4052 Basel

Switzerland